

運輸通信省ヲ運輸省ニ改ムニ伴フ戰時行政職權特例第二條規定依
昭和十六年九月十六日內閣告示第十八號及昭和十九年六月三十日內閣告示第七號改正件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十年五月十八日

內閣總理大臣男爵鈴木貫太郎

閣議第二六九號

案 起

昭和三十年五月十八日

裁可 昭和三十年五月十八日
決定 昭和 年 月 八日 施行

昭和三十年五月三十日
告示

内閣總理大臣



内閣書記官長



内閣書記官



別紙内閣告示案ノ通運輸通信省ヲ運
輸省ニ改ムルニ伴フ戰時行政職權特例第
二條ノ規定ニ依ル昭和十八年九月十六日内閣
告示第十八號及昭和十九年六月三十日内閣
告示第十七號中改正ノ件裁可ヲ奏請

セラレ然ルベシ

追テ本件御裁可ノ上ハ別紙内閣告示案ニ依リ告示相成然ルベシ

昭和二十年五月十八日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官



内閣官房總務課回付ニ係ル運輸甲第三十八號昭和十八年肌内閣告示第十八號中改正ノ件ニ關シテハ別紙ノ通告示ノ下ニ決定相成可然ト認ム

告示案

別紙ノ通

内閣告示第十五號

運輸通信省ヲ運輸省ニ改ムルニ伴フ戰時行政職權特例第二條ノ規定ニ
依ル昭和十八年九月十六日内閣告示第十八號及昭和十九年六月三十日
内閣告示第十七號中左ノ通改正ス

昭和二十年五月三十一日

内閣總理大臣

「運輸通信大臣」ヲ「運輸大臣」ニ改ム

内閣告示第十五號

運輸通信省及運輸省ニ改ムルニ俾テ戰時行政職權特例第二條ノ規定ニ
依ル昭和十八年九月十六日内閣告示第十八號及昭和十九年六月三十日
内閣告示第十七號中左ノ欄改正ス

昭和二十年五月三十一日

内閣總理大臣

運輸通信大臣「及」運輸大臣」ニ改ム

付箋

本件ハ各省官制通則外七勅令中改正ノ件
ノ公布ト同日告示セラレ度
法制局
内閣官房總務課 御中

内閣

治部省

理由

運輸通信省ヲ運輸省ニ改ムルニ伴ヒ改正スルノ要アルニ依ル

B4 タイプライター用紙

参照

内閣告示第十八號

戦時行政職權特例第二條ノ規定ニ依リ船員

職業紹介ニ関スル運輸通信大臣ノ職權ヲ原案大

臣ヲシテ行ハシム

昭和十八年九月十六日

内閣總理大臣

内閣

B4 タイプライター用紙

勢

内閣告示第十七號

戰時行政職權特例第三條規定に依り左に掲ぐる事項に
関する運輸通信大臣の職權は昭和十九年七月一日ヨリ海軍大
臣に之を行はしむ

昭和十九年七月三十日

内閣總理大臣

一 鋼船以外、鐵船、製造及修繕に必要なる船舶用機關、
全部、鐵、鐵製品、其他船舶用品、大部分に之を海軍大
臣及運輸通信大臣の協議に依り是らモノ製造及其製造
所に於ける此等ノ物ノ修繕に關する事項

一

小